

2016年度（平成28年度）入学試験第2次選抜試験（小論文試験）

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

【文章省略】

下記の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

〔出典：問題文①，問題文②とも佐藤憲一「法学的身体と裁判の未来」和田仁孝ほか編『法の観察』（法律文化社，2014年）。出題の都合上，小見出しを削除する等の変更を加えている。〕

設問1 問題文①によれば，日本人の多くが日本文化に特有の価値観や行動様式を共有しているように，法学部生や法学部出身者の多くは，法学部固有の文化を共有しているとされる。ここでいう法学部固有の文化とはどのようなものであるのかを，600字以上800字以内で要約しなさい。

設問2 問題文②において問題となっている「裁判」に関する評価の相違は，どのような原因に基づくものなのか，また，その相違を解消すべきとすればどのように解消することができるのかを，問題文①に示された筆者の考え方を前提としつつ，800字以上1,200字以内で論じなさい。